

★6月1日(土)から教職課程センターが、地下1階の旧談話室(面接練習したところ)に引っ越しました。

地下なので窓はありませんが、蛍光灯が多いのと壁が白いので、思いのほか明るいです。4年生や大学院生は3月に個人面接練習をした部屋なので、よく知っているでしょう。書棚やファイリングキャビネットが入ったので、当時とは全く雰囲気が変わりました。これからは隣の事務室に気を遣う必要がないので、学年を問わず遠慮なく相談室に来てください。論文添削や進路相談のほか、教職関係図書の貸し出しもしています。仲間でやってきて大声で議論することもできます。また、テーブルとイス、ホワイトボードもあるので勉強することも可能です。気軽にどうぞ!

★今年度の受験生諸君へ!

1次試験までいよいよ、あと実質3週間となりました!

○多くの4年生は、現在教育実習の真っ盛りですね。元気に頑張っているのでしょうか?学習指導案や書類の書き方など、実習中に困ったことがあったら、教職課程センター又はTAGAMIにメールしてください。大抵は、解決できると思います。今年の4年生は、ラッキーです。関東都県の1次試験の日程が7月14日と例年よりも1週間遅くなったため、教育実習後も準備できるからです。是非この幸運を生かして最終合格してほしいです。今月の特集は、「論文の直前最終チェック」としました。添削を受けている諸君は「何をいまさら」と思うでしょうか、何事も直前の最終確認が大切です。念には念を入れて復習しておきましょう。そして、**論文試験を受けたら、2~3日以内に7-7フロで復元答案を作って、メールで送ってください。**

○7月15日(月)[1次試験の翌日]~8月9日(金)の日程で、2次試験向け「個人面接練習」、「模擬面接」、「集団討論練習」を行います。現在、申込受付中です。**6月30日(日)までにメール又は来室で申し込んでください。**2月に7フロアナウンサーによる面接講習を終えているので、今回は面接講習を行わず、いきなり練習に入ります。個人面接については過日、私がオンデマンド・コンテンツの講師として「個人面接講習」を撮影しました。ネットで見られるので、個人面接について忘れてしまった人や不安な人は、復習として使ってください。オンデマンド・コンテンツの見方についての問い合わせは、学務課にお願いします。

★2020年度以降の受験生諸君へ!

○ついに5月から論文講習→個人添削が始まりました。論文講習は、同じ内容で3回実施しました。参加者は合計30名でした。内訳は3年生16名、2年生10名、1年生4名です。今後、3年生は20回以上、2年生は30回以上添削を受けるようにしてください。そうすれば、試験当日までに間違いなく合格ラインに達する論文を書くことができます。また、授業等で今回受講できなかった人には、講習の動画DVDを貸し出します。相談室に来てください。併せて、筆記試験の準備も始めてください。どんなふうに勉強すればよいか分からない人は、相談室に来てください。必要なら、書籍の貸し出しもできます。筆記試験も論文も早く準備を始めた人が勝ちます。どんなに遅くても、3年生の9月にはスタートしないと、教員採用試験に間に合わなくなります。教職を目指す決めた時から、教員採用試験の準備を始めましょう!



★一旦企業等に就職してから、数年後に教員になろうとしている諸君へ!

○そういう選択肢もアリですが、その場合は、数年後の教員採用状況を知っておく必要があります。これから5年間は、公立学校教員の採用人数が減っていきます。5年後には現在の半数しか採らない自治体も出てくるでしょう。したがって、今よりも激戦になる可能性があります。企業にいても早くから準備しておくことが大切です。一方、私立学校の教員採用数は、その学校の退職者の人数とそのときの景気によります。私立学校では、採用された教員は定年まで勤務することが多いです。したがって、若手教員の多い私立学校では当分新規採用がないということです。ただし、若手の私立学校教員の中には教員採用試験を受験して公立学校に移る人がいるので、急に新規採用が必要になる学校もあります。私立学校教員の募集については、大学に来る求人票の他に「日本私学教育研究所」「教員採用.jp」「教員人材センター」「E-staff」「indeed」などから情報を得ておくとういでしょう。

【お知らせ】※下記の(1)(2)とも講習動画を撮る予定です。後日、それを貸し出します。

(1) 2020年度以降の受験生向け「教育法規講習」: 全4回。異なる内容。4回全部受講することが望ましい。

1回目 9月4日(水) 3限 13:20~15:00 2回目 9月4日(水) 4限 15:10~16:50 **これから募集**

3回目 9月6日(金) 3限 13:20~15:00 4回目 9月6日(金) 4限 15:10~16:50 **これから募集**

(2) 2020年度以降の受験生向け「学習指導要領講習」: 全2回。同じ内容。1回受講すれば十分。

1回目 9月9日(月) 2限 10:50~12:30 2回目 9月11日(水) 2限 10:50~12:30 **これから募集**

【合格論文の直前最終チェック】

法政大学生諸君の
全員合格を
期待しています！

★合格論文の書き方について最終確認しましょう！

《はじめに》

シャープペンシルの芯の濃さはB以上か。消しゴムを2つ以上用意したか。受験票を持ったか。会場確認は大丈夫？

《前文》 次の①～④が書いてありますか？

- ① 問題のキーワードが抽象的だったり、複数の意味をもっていたりするときは内容を絞る。(2つの柱を意識する)
例・私は、教師の使命とは、どの生徒に対してもその個性を十分伸ばすことであると考える。
・私は、生きる力の中でも、思考力・判断力・表現力が極めて重要と考える。
・私は、教員の資質のうち、授業力と生徒理解力が特に重要と考える。」
- ② 問題のキーワードが何故重要なのか、理由を簡潔に書く。「これからの持続可能な社会」は、結構使えるキーワード
- ③ 「しかし、残念ながら現状は・・・」(否定的なことを断定的に書かない。キーワードが不十分な子どもの姿を書く)
例・しかし、残念ながら現状は思いやりの心の育成が十分でなく、いじめによる自殺が後を絶たず、心が痛む。
・しかし、残念ながら現状は遅刻や身だしなみの乱れが多く、基本的な生活習慣が徹底できていないと聞く。
・しかし、残念ながら現状は、ややもすると教師の説明だけによる一方的な授業になりがちで、主体的・対話的な学習が少ない傾向がある。」
- ④ 論文の結論を書く。
例・私は、中学校数学科教師として、学習指導と社会に関わった教育課程の視点から(問題のキーワード)を実現する。

《本文》

(柱) 必ず体言止め。キーワードが3つあるときは、柱1と柱2の2つに分ける。

- 例・主体的・対話的な学びを行うための学習指導の工夫
・深い学びを実現するための社会に関わった教育課程の推進

(論) 柱1では学習指導と問題のキーワードの、柱2では地域連携と問題のキーワードの関係を1～2行で述べる。

- 例・理科の授業は、主体的に取り組む態度を育成する上で最適の場面である。
・日々の授業の中で友達と学び合うことで、他者を思いやる心は育つ。
・授業は、教員の生命線である。授業力向上こそ、教員の資質向上に直結する。
・生徒は、学校だけで育つわけではない。思いやりの心は、地域や社会の中でも大きく育つ。
・地域連携は、社会貢献の精神を育む絶好の機会である。
・授業は学校の根幹であり、チーム学校の中心である。授業の充実、チーム学校に不可欠である。

(例) 体験自体はいつも同じでよいが、文末を問題のキーワードに合わせる。教育実習体験と差し替え可。

- 例・私は、教育実習でICT機器を活用した授業を見た。生徒は教師の指示に従って行動していたが、残念ながら自ら考え、試行錯誤を通して何かを発見する姿からは遠かった。この体験から私は、・・・(失敗体験から学ぶことも重要)
・私は、教育実習でICT機器を活用したグループ学習を見た。そこで、グループ学習(ICT機器活用)は他者を思いやる心の育成に極めて有効であると学んだ。この体験から私は、・・・

(策) 策①は(例)の体験と関連した方策を書く。各方策の文末を問題のキーワードに寄せて書くこと！

策は、具体的なものを必ず2つ以上書く！決められた文字数に届かなそうなら、3つ目の策や価値付けを書く。

- 例・授業にICT機器を活用し(ロールプレイングやディベートを通して)、主体的で対話的な学びを行う。
・単元に1回以上実験を行い、確かな学力を育成する。
・日常生活に関連した教材を用いて、生徒に学ぶ意義を感じさせる。
・授業中に人権侵害の発言があった場合は、毅然として厳しく指導する。(キーワード：・人権教育)
・グループ学習やペア学習により学び合いをさせ、思いやりの心を育てる。
・授業開始時・終了時の挨拶励行、提出物の期限厳守を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。
・「身だしなみ週間」・遅刻防止週間」を設定し、生徒会の生徒と一緒に校門に立ち、基本的な生活習慣の徹底を図る。
・家庭との連携を図り、「家庭生活ノート」に家庭での様子を記入させて生徒理解の充実を図る。
・家庭や地域から講師を招いて、「問題のキーワード」というテーマで講演会(シンポジウム、交流会)を開く。
・学校通信に地域の掲示板に貼ったり、学校公開を実施したりして、チーム学校の基盤をつくる。
・近隣の小中学校と連携し、生徒を学習ボランティアとして派遣し、生徒の学びを深める。
・スクール・ソーシャル・ワーカー(スクール・カウンセラー)と連携し、一層の生徒理解を図る。(教師論)
・生徒と共に地域清掃ボランティアに参加し、社会貢献の精神を育てる。(教師論)
・研修センターの研修会や教科の研究会に参加し、授業力の向上を図る。(教師論)

《まとめ》 次の内容で論文を締めくくる。フォーマットは、各自で用意しておく。(ほとんどの人がよくできています)

- ①教師としての夢・理想 ②柱の文言が入っている。 ③問題のキーワードが入っている。 ④教師としての決意

